

まちづくり懇談会内容

日 時： 令和 6 年 11 月 7 日(木)13:30～14:45

場 所： 杵臼公民館

出席者： 8 人

1. 開 会

2. 町長挨拶

3. 懇 談

(1) 主要施策の取組状況について 資料①参照

(2) 自由懇談

4. その他

- ・資料②参照 ネイチャーポジティブの実現に向けて
- ・資料③参照 紙の保険証の発行について
- ・資料④参照 緊急告知 FM ラジオについて

5. 閉 会

【自由懇談・そのほかの質疑など】

■小学校の再編について

町 民 どのようなスケジュールで進んでいくのか。

町 長 町民の代表の方が集まって検討委員会を作って議論していたが、そこから答申をいただいた。それを総意として議会と協議を進めていく。スケジュール感は決まっていないが児童数の減少から、近い将来、適正配置に向けて栗山・角田・継立の3校を一つに、という考え方だと受け取ってる。それを踏まえてこれから議会との協議に入る。この関係は改めて町民の皆さんに説明していきたい。ひとつの目安は、継立小学校の令和 9 年 4 月の入学者が一人になり複式学級が増えること。子どもの学習環境の公平化やクラブ活動などを踏まえ統合を進めるべきと考えている。

町 民 小中一貫校については。

教 育 長 小中一貫教育といっても3種類ある。ひとつは一体化してしまう。その中でも、校長を一人にする方法と、二人にする方法。それと、既存の建物を利用した一貫校。この関係も今後の話であり、今のようなことを一つひとつクリアしながらということで協議を進めているところ。

■緊急告知 FM ラジオについて

町 民 南部地区の電波が悪いという話だが、杵臼も同様に電波が良くない。自宅（杵臼）の窓際でアンテナを延ばしても受信状況が悪くラジオの受信レベルのランプが点滅している状況。ラジオに関心を持ってもらうためには、ボランティアパーソナリティなど FM くりやまが町民に近い感じになれば、ラジオに興味を持ってもらえると思う。

町 長 ラジオの配付率は約 42%にとどまっている状況。このラジオは、防災の情報伝達手段でもあるため、なるべく 100%に近い状態にしたい。これは行政の役割だと思っており様々な場面で PR していきたい。町民の FM くりやまの関りで言うとボランティアパーソナリティが 8 人活動してもらっている。生番組が増えて充実したり町民の皆さんに番組制作にも関わってもらったりすると関心を持ってもらえると考えている。町民の人が気軽に立ち寄ることのできるような身近なラジオ局にすることが重要だと考えている。

■緊急告知 FM ラジオについて

町 民 ・配付率が 42%程度ということだが、取に出来ない人がいるのであれば配ってしまえばいいと思う。
・T 型アンテナはどうしたら貰えるのか
・テレビのアンテナに繋がれるのか

総務課長 ラジオの配付率 100%を目指したいというところで郵送について議会とも協議したことがあるが、防災の意識を高めながらラジオを普及させることの重要性から見送った経過がある。T 型アンテナの関係はブランド推進課に言っていただければお渡しできる。
テレビのアンテナに同軸ケーブルをつなげれば屋外のアンテナを使えるので改善を図ることができる。

町 長 議会とも宅配配付に関する協議をしたが、費用の問題や、防災意識を高めていく必要もあることなどから、役場で PR をしながら配付することになった。あらゆる方法の検討をすすめるうえで自治会の皆さんにも協力をお願いすることもあるかもしれないのでその際はよろしくお願いいたします。

■マイナ保険証の資格情報についてのお知らせは何のためにあるのか

町 民 ・資格情報のお知らせは何のためにあるのか
・読み取り機のない医療機関はあるのか

住民保健課長 資格情報のお知らせは、マイナ保険証を持っている方に送っている。見た目はマイナンバーカードなので、視覚的にわかるよう紙でもお知らせしますというのが目的。読み取り機がない町内医療機関は町内歯科の 1 か所

町 長 マイナ保険証には逆風が吹いている。全国の利用率は 10%程度だが、栗山町は 20%程度となっており全国平均よりは高い結果となっている。将来的なことを考えると、保険証機能や運転免許証の機能など、最終的には全国民が同じサービスを受けられるようになる、今はその過渡期と思っている。我々としても推進していきたい。